

手をつなぐ 鹿島育成園だより

夢を語り夢をかなえる

編集者 高橋 英一

法人本部・生活支援センター
〒314-0016
茨城県鹿嶋市国末1539-1
TEL 0299(82)6464
FAX 0299(83)3261

鹿島育成園(児童寮及び育成寮)
〒311-2401
茨城県潮来市大賀438-4
TEL 0299(66)3439(代)
FAX 0299(66)3431

<http://www.kashima-ikuseien.com/>
mail:kaikusei@eagle.ocn.ne.jp

定価 100円



8/6 育成寮 夏祭り

児童寮卒園生の事

園長 高橋 英一

児童福祉法は満18歳までの適用なので、特別支援学校卒業をもって児童は卒園となります。卒業後はそれぞれの事情により、出身地に帰る事を希望しない人もいます。

今年の6月下旬から8月上旬にかけて県外の施設で暮らしている男性達に面会に行ってきました。昨年3月に卒業した男性は、又鹿嶋に戻りたい。成人式は育成園でして欲しい。という希望でしたので、先方の施設長さんと協議し、希望を叶えてあげる事にしました。

県内の他法人のGHで生活している数人からも園に来たいと連絡があったので、一人は当法人のGHで受け入れる事になり、他の多くの卒業生も希望しているので、21日に実施するバーベキュー会に招待します。生活に疲れ悩んでいる卒業生が実家の様に気軽に出来る事が出来る児童寮で在り続けたいと願っています。



研修報告

第52回関東地区知的障害福祉

関係職員研究大会茨城大会

育成寮 支援員 野口 桂久

関東地区知的障害者福祉協会の会員施設、事業所の職員が一堂に会して2日間に渡り行われたこの大会は、施設や事業所が直面する諸課題について討議し、それを実践として活かし、知的障害者の福祉の向上に寄与することが趣旨でした。

大会テーマは「桜梅桃李oubaitouri」。それぞれが美しい花をさかせるように、他人と自分を比べず個性を磨こうという意味です。また、一人一人が自分の花を咲かせることができるような環境を、どのように創っていかけるかを議論するものでした。私たちは施設職員という枠を超えて地域福祉のプロとして存在しなければなりません。支援員の仕事に誇りとやりがいを感じ、これからの私が利用者にとって必要とされる存在でありたいと考えております。

てんかん基礎講座

児童寮 指導員 大内 悠

私は第48回てんかん基礎講座を受講しました。てんかんには、焦点起始発作、全般起始発作の2種類があり、いずれも経過観察が必要で、医師と連携して治療していくことが大切です。てんかんの検査において脳波検査やCTやMRI等の検査をし、異常が見られてもてんかんと確定診断するわけではありません。また様々な治療がありますが、すぐに治療が開始するわけではありません。てんかんは長期的治療が必要なこと、また最終目標としてQOLの向上を目標として治療を開始していく必要があります。発達障害がある児童のてんかんの有症率は20%以上になります。その多くは乳幼児から学童期に現れるため、早めの発見が必要です。日常生活でてんかん発作が出た場合、意識確認・痙攣・転倒の仕方等の発作中の観察や安全確保が必要です。また、生活していく上で制限や不自由なことも多くあります。周りの人と協力しながら、その

方に合った自立に向けた支援を行っていききたいと思いました。

厨房から

栄養士 小島 みどり

今年も厳しい暑さが続く夏となりました。暑さは体に大きな負担をかけ、食欲の低下や体調不良を招きやすくなります。そのため、私たちは夏バテを防ぎ、皆さんに元気に過ごしていただくよう、栄養のバランスを考えた献立づくりを心がけています。さらに、厨房では日頃の清掃に加えて毎月大掃除の日を設け、普段以上に徹底した衛生管理を行っています。安心して安全な食事をお届けするため、スタッフ一同細やかな配慮を大切にしながら、日々心を込めて調理しております。



アイリス菜園

今年もアイリス菜園で作ったスイカ、枝豆、トマトを収穫し、みんなで頂きました。暑さにも負けず、水やりを欠かさずやりました！毎日少しずつ成長していく野菜達を見て喜ぶ利用者さん達の笑顔は、これまた素敵でした！秋にはさつまいもの収穫を控えています。今から楽しみです！



Instagram



利用者さんの日常をお知らせいたします



KASHIMA KUSEIEN

児童寮の夏休み

児童寮 保育士 黒澤 梨緒奈

今年の夏、児童寮では銚田市にある「とちぎ海浜自然の家」へ1泊2日でお泊まり旅行に出かけました。



大きなプールで水泳をしました。学校の水泳の授業で習っている為か、ビート板を使ってスイスイと泳げる子があり、子どもたちの身体能力の高さに驚かされました。広い体育館では、子ども達VS職員でドッジボールの試合を行



いました。素早く逃げる子ども達になかなかボールを当てる事ができず、子ども達の力強い投球に当てられてしまう職員が多く、子ども達チームの勝利となりました。



うどん作り体験では、エプロンに着替え、グループに別れてうどん作りを行いました。子ども達に生地をたくさん踏んでもらい、こしの強い美味しいうどんを作る事ができました。このグループが美味しいうどんを作る事ができるか食べ比べをすると、全員、自分で作ったうどんが美味しいということになり引き分けとなりました。一から食事を作る貴重な体験をすることができました。

今後も子供たちと職員が一緒に経験できるような行事を計画していきたいです。

*紙面に記載されている個人情報、ご本人または保護者様の了承を得て掲載しています。

障害者就業・生活支援センター

まつぼっくり



生活支援担当 國井 深雪

8月23日、育成寮の管理栄養士の田中さんを講師に迎え「食習慣の見直しについて」というテーマで在職者交流会を開催しました。参加者は在職者と来春卒業予定の児童寮の高校生5名を加え34名。講演では、食事は空腹を満たすだけでなく、仕事への意欲や集中力を高め、健康を保つ為に大切なので、面倒、時間が無いとおろそかにせず3食しっかり食べましようとお話がありました。その後、心身のリフレッシュを図るためボウリングを行いました。大きな歓声が場内に響き渡り、誰もが良い汗をかき笑顔で交流会を終える事が出来ました。



グループホーム便り



統括主任 貝塚 卓弥

8月14日にグループホームの皆さんでアクアワールド大洗水族館に行ってきました。

この水族館はたくさん生き物が展示されていますが、この日の皆さんの一番のお目当てはイルカ・アシカショーでした。お盆休み中で激混みの中、開場と同時に突撃し何とか全員分の席を確保。そこから1時間待って観賞しました。巨大なイルカたちのダイナミックなハイジャンプで大量の水しぶきが上がりましたが、事前に用意していたレジャーシートでバッチリガード。多少濡れてしまいましたが、それも良い思い出。最後にお土産を購入して楽しい一日になりました。





Let It Go
ありのままに～

プレミアムドックフェスタ
に行ってきました！
育成寮 支援員
三島 麻里

友人と一緒に、プレミアムドックフェスタに行ってきました。
愛犬が6月で1歳になりました。一緒に出かけできる場所が増えて来たものの、まだまだ限られたエリアです。初めてバギーに乗り、とても暑い中アイスノンを敷いて愛犬は快適に出発しました。私も愛犬も初めての事でキョロキョロしてしまいました。おやつやリードに首輪、夜の散歩に着ける光る首輪など、色々な物が売っていました。前から首輪が欲しく、色々探していましたが、イメージに近い物が見つかり、大人買いをしてしまいました。
初めてのフェスタは楽しく過ぎせ、友人もまた来たい、他の所も行きたいと話していました。二人で次回も楽しみたいです。

*紙面に記載されている個人情報、ご本人または保護者様の了承を得て掲載しています。

児童寮のみんなが、好きな色と材料を選び、一生懸命混ぜていました。完成すると子供たちは大喜び「(〽)できたよ」と伸ばしてみせてくれたり、お友達同士で見せ合いっこして楽しんでいました。



8月16日 児童寮「スライムづくり」

8月6日 育成寮「夏まつり」
おもいでの日、みんなの笑顔



逝去

育成寮

正木 克己さん(60歳)

8月16日入院先の病院でお亡くなりになりました。育成寮に入所して1年半、ウルトラマンが好きでシユワッチの決めポーズで和ませてくれる存在でした。もう少し一緒に過ごしたかったです。ご冥福をお祈りいたします。
施設長 鈴木 はつ子



児童寮退所

清水 義輝さん

新しい施設でも頑張ります！
今までありがとうございました。



8月30日 育成寮・児童寮「花火大会」

編集後記
思い出のハンカチーフ
正木さんはいつもポケットにハンカチを持っており「(姉の名前)がくれた」と喜んで話していました。ハンカチを持つことで郷愁の念にかられていたのでしょうか？
正木さん、又会うときは、ハンカチへの想いをこっそり教えてください。(高崎)



9月	
13日	育 ゆうあいスポーツ大会
18日	児 育 慈光学園見学
21日	児 パーベキユー
21日	育 面会日
27日	育 歌謡ショー
10月	
4日	アイリス 交流会
6日	児 お月見会
8日	育 グループ別外出
10日	育 尚恵学園見学
19日	育 面会日
11月	
16日	収穫祭



行事予定

寄付・寄贈・招待
リスカ株式会社 様(茨城県)